



2021年12月17日

各位

会社名 株式会社やまみ  
代表者名 代表取締役社長 山名 徹  
(コード: 2820 東証第一部)  
問合せ先 管理本部長 六車 祐介  
電話番号 (0848-86-3788)

### 新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の新市場区分の見直しに関して、本日プライム市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点(2021年6月30日)において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっております。「流通株式時価総額」及び「1日平均売買代金」については、基準を充たしておりません。当社は、当該2項目に関して2024年6月期までに上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率	1日平均 売買代金
当社の状況 (移行基準日時点)	26,340 単位	54 億円	37.9%	0.17 億円
上場維持基準	20,000 単位	100 億円	35.0%	0.2 億円
計画書に記載の項目		○		○

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

## 2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

プライム市場の上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針・課題及び取組内容につきましては、添付の「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」に記載のとおりです。

本計画書に記載の取組によりまして、当社企業価値の向上並びに中長期的持続可能な成長の実現に繋げてまいります。

以 上

# 株式会社やまみ（2820）

## 新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

2021年12月17日

代表取締役社長

山名 徹

- I 新市場区分における上場維持基準への適合状況
- II 上場維持基準の適合に向けた基本方針、課題及び取組
- III プライム市場上場維持基準の適合に向けた取組内容
  - 中期経営計画の着実な実行
  - IRの充実
  - コーポレートガバナンス・コードへの対応
  - サステナビリティへの取り組み促進

# I 新市場区分における上場維持基準への適合状況



## 【上場維持基準の適合状況】

当社の移行基準日（2021年6月30日）におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、「流通株式時価総額」及び「1日平均売買代金」について基準を充たしていない状況です

項目	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金
上場維持基準	20,000単位	100億円	35%	0.2億円
当社の数値	26,340単位	54億円	37.9%	0.17億円
判定結果	○	×	○	×

※「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果について」（株式会社東京証券取引所より、2021年7月9日付 受領）

## 【計画期間】

プライム市場の上場維持基準を充たすための計画期間を、「中期経営計画（2022年6月期～2024年6月期）の最終年度となる「2024年6月期末」までとし、本計画に記載する各種取組を進めてまいります

**【基本方針】**

当社は、2021年8月12日に公表した中期経営計画に基づき持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るとともに、コーポレート・ガバナンスの一層の充実を図り、IRの充実による市場認知度向上など各種施策を推進することにより、プライム市場上場維持基準の適合に向けた取組を進めてまいります。

**【課題】**

「流通株式時価総額」の基準を充たしていないことから「時価総額」の増大及び「流通株式比率」の改善をさせていくこと、また「1日平均売買代金」の基準を充たしていないことから、当社株式の流動性を向上させていくことが課題と認識しております。

**【取組】**

「中期経営計画の着実な実行」、「IRの充実」、「コーポレートガバナンス・コードへの対応」、「サステナビリティへの取組み」を実施していくことにより、時価総額の増大及び流動性の向上を図ってまいります。また、東京証券取引所の1次判定結果における当社の流通株式比率は、プライム市場の上場維持基準を充足しておりますが、更なる向上に向けた取組もあわせて検討してまいります。

## 【中期経営計画の着実な実行】

中期経営計画の推進による業績向上から、計画期間中のプライム市場上場維持基準充足に向けて取組みます

	2021年6月期実績	2024年6月期計画
売上高	12,798百万円	15,040百万円
営業利益 (営業利益率)	732百万円 (5.71%)	1,800百万円 (11.96%)
当期純利益 (当期純利益率)	511百万円 (3.99%)	1,235百万円 (8.21%)

※2021年8月12日公表の「中期経営計画の見直しに関するお知らせ」より作成  
2022年6月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用。2021年6月期実績は当該会計基準を適用したと仮定して算定

## 事業戦略

当社は、消費者のみなさまに製品の安全と安心をお届けすることを最優先と位置付けております。常に最新装置の導入を行い、自動化による衛生面と製造効率の強化を図ってまいりました

当社は、売上高を重要経営指針の一つと考えており、中期戦略といたしまして、売上高の増加を目指し既存の取引先はもとより、新規の取引先の開拓を進めて企業価値の向上を目指してまいります

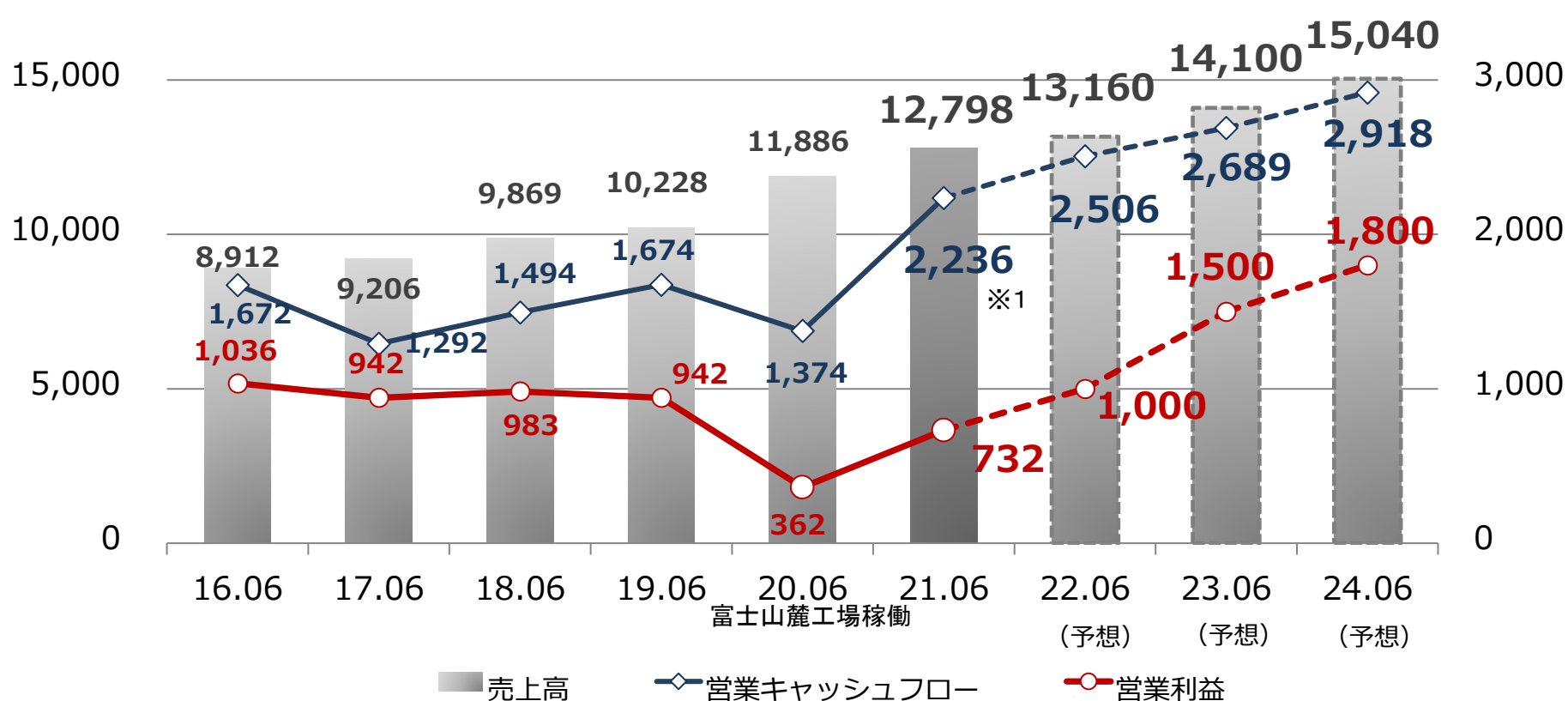
## ポイント

- 加工度が高く、他社が大量生産できない製品に対して、他社が真似できないスピードをもって、設備投資・設備の更新を行います。他社を圧倒する製造量を保つことで加工費を抑え、低価格で加工度の高い製品を、お客様に提供してまいります
- 品質・製品力を共に向上させる改善を更に推進すべく、人材の採用・育成について、新卒採用・中途採用共に強化することで、マネジメント力を高め収益改善を目指していきます
- 生産効率アップ、首都圏市場展開のための大型投資一巡による減価償却費のピークアウトで、22.06期以降利益拡大期へ
- ESG、SDGsに対する取り組みの強化。省エネルギー事業への参画



(売上高：百万円)  
20,000

(営業利益・営業CF：百万円)  
4,000



※1 21.06期の営業キャッシュフローは還付消費税359百万円を除いております。

※2 2021年8月12日公表の「中期経営計画の見直しに関するお知らせ」より抜粋  
2022年6月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用。2021年6月期以前の実績値は当該会計基準を適用したと仮定して算定

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図る観点から、情報開示の充実を進めるとともに、株主・投資家の皆様との積極的なIR活動を推進、建設的な対話を行うことにより、当社株式に対する市場における適正な評価に繋げてまいります

### ■ 開示コンテンツの充実

- 適時開示を含む様々な情報発信
- 決算説明資料等のわかりやすい開示
- ホームページを通じた情報発信の充実

### ■ 投資家様及び株主様との対話の機会の充実

- 個人及び機関投資家向け説明会（ライブ・Web）の開催機会の増加
- コロナ終息後の投資家、株主さまへの工場見学会の実施



## プライム市場上場維持基準の適合に向けた取組内容 コーポレートガバナンス・コードへの対応



新市場区分の趣旨を理解し、プライム市場に要求される水準を充たす企業を目指し、コーポレートガバナンスの一層の充実を図ってまいります。

また、2021年6月に改訂されました「コーポレートガバナンス・コード」の実施に向けて取組んでまいります

## 「未利用LNG冷熱の融通と高効率冷凍機導入による連携省エネルギー事業」



- ①冷熱サービス、②太陽光サービスの2事業に参画、省エネとCO2削減を行いSDGsの達成に貢献
- 広島ガス株式会社、三井住友ファイナンス&リース株式会社との共同事業。2022年1月より運用開始

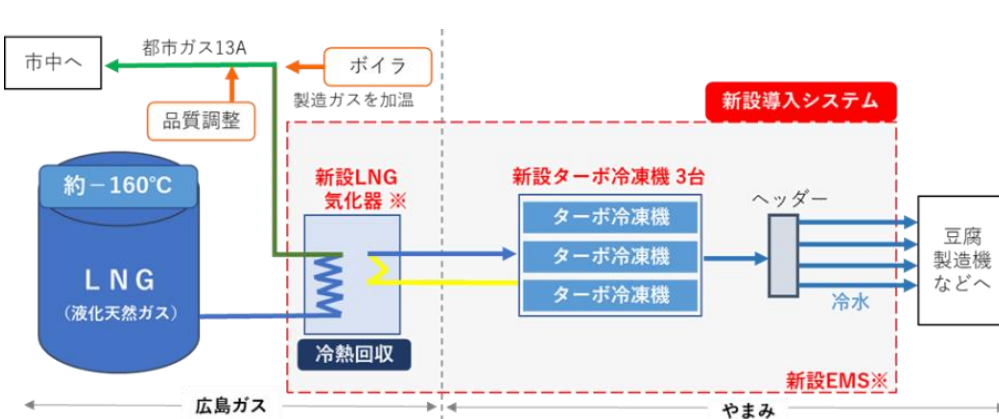
### ①冷熱サービス

当社本社工場に隣接する広島ガス備後工場の約-160℃のLNGから熱交換した冷熱の供給を受け、当社が更新する高効率冷凍設備の熱源に利用して省エネ・CO2削減を図る

### ②太陽光サービス

「本社工場」「関西工場」「富士山麓工場」全ての工場へ太陽光パネルを載せ、合算で約1,335kWの太陽光発電設備を設置して省エネ・CO2削減を図る

冷熱サービス 導入システム概要図



本事業による効果 (想定)

項目	冷熱サービス	太陽光サービス ※1
省エネルギー量 (kL)	1,073	442
省エネルギー率※2	9.2%	3.8%
CO2削減量 (t/年)	1,913	764
CO2削減率※2	8.7%	3.5%

※1 太陽光サービスの省エネルギー量およびCO2削減量は太陽光設備の遮熱効果を加味して試算  
 ※2 太陽光サービスの省エネルギー量およびCO2削減量を本社工場の使用分に置き換えた場合で試算

## ①あらゆる方に安心して食べて頂ける、安全な食づくりに寄与する

3 すべての人に  
健康と福祉を

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう

12 つくる責任  
つかう責任

- 食品安全マネジメントシステム FSSC22000およびISO22000の認証取得

## ②持続可能な資源の活用で、環境負担の軽減に寄与し、地球にも優しい会社であり続ける

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに

17 パートナシップで  
目標を達成しよう

- 強度を増したECOパックの導入
- 自己完結型のバイオマス燃料製造設備の導入
- 廃油を燃料とした設備稼働
- 一部商品パッケージのバイオマスインキ使用



ECOパック

バイオマス燃料製造設備



## ③食の大切さを考慮した製造過程で、食品ロスを削減する

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに

17 パートナシップで  
目標を達成しよう

- おから乾燥機による原料ロスの削減
- 最新機械導入による賞味期限の延長



おからパウダー

最長2週間の賞味期限  
を実現した製造機械



## 本資料に関するお問い合わせ先

---

株式会社やまみ 経営企画室

電話 : 0848-86-3788

E-mail : [ir@yamami.co.jp](mailto:ir@yamami.co.jp)

URL : <https://www.yamami.co.jp/>

当資料に記載されている将来の業績見通しは、本資料発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、これらの見通しと大きく異なる結果となる場合がありますことをご承知おきください。